

# 「オリーブ島」構想着々

## 江田島市、今夏に農業団地造成



展示用の畑でオリーブの生育を確かめる市職員たち (江田島市能美町中町)

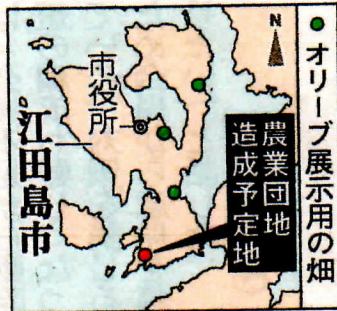
市は4カ年計画で、大柿町深江地区の市有地約12畝に農業団地を造成する。6月にも測量を始め、今年中に生

い茂る木々を伐採する。防災対策として雨水や砂をためる沈砂池も来年3月までに設け

### 特産化へ企業の誘致も

江田島市は今夏、「オリーブの島」構想の一環として、オリーブを栽培する農業団地の造成事業に乗り出す。栽培を担う企業の誘致を進め、島の新たな特産品として出荷できる態勢づくりを目指す。

(加茂孝之)



市は2012年度から本格工事に入る予定で順次、参入企業に栽培を始めてもらう。現在、市内の建設業者など3社が参入を予定している。3社は既に自社の敷地で計約3500本を栽培している。市は今後、参入予定企業やJAなどとオリーブ振興協議会を設立

し、長期計画を策定する。農業団地内にオリーブの加工場を造ることなども検討する。「オリーブの島」構想は、官民一体でオリーブを新たな特産品に育て、耕作放棄地の解消にもつなげるのが狙い。市はオリーブ栽培を市民にも普及させるため、4品種約2000本の木を植えた見学用の畑を能美町中町、大柿町柿浦、江田島町小用の計3カ所に整備した。苗購入費補助制度や栽培講習会などを通じて栽培を促す。田中達美市長は「オリーブはお年寄りでも育てやすい。島の特産品に育てていきたい」と話している。